Fader Start MIDI Interface

Kickman

FDS-2400

取扱説明書

株式会社トライテック

ISSUED : July.2001

200402R2

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、本機の性能を十分発揮して末長くお使いいただきますようお願いいたします。

■本機の特長

デジタル・ミキシング・コンソールでは各チャンネル・フェーダーの位置情報が、MIDIのコントロール・チェンジ情報として出力されている機種があります。**FDS-2400"Kickman"** はそのMIDI情報を読み取り、各フェーダーに対応した接点出力をコントロールすることでフェーダー・スタートを実現しました。

FDS-2400 は機能がシンプルでMIDIチャンネル以外は面倒な設定が一切不要なため、システムに組み入れてすぐに使うことができます。また出力端子は接続作業のしやすさを重視したネジ止め端子台を採用しています。

この端子台は2 ピース構造のため、**FDS-2400** をラックにマウントした後でもプラグ部分を外して手元で接続作業が行えます。

■各部の説明

前面パネル

- **電源スイッチ[POWER]** ： フェーダースタートを停止させたい場合は電源スイッチを切ってください。またMIDIチャンネルを変更する場合も必ず電源スイッチを切ってください。
- **コマンド・インジケーター** ： 各Ch.の出力に対応したLEDインジケーターが点灯します。

後面パネル

- **MIDI IN** ： ミキシング・コンソールのMIDI OUTと接続します。
- **MIDI OUT** ： 使用していません。
- **MIDI THRU** ：MIDI INに入力されたものがそのまま出力されています。
- **MIDI CH.** ： ミキシング・コンソールのMIDI送信チャンネルに合わせます。なおミキシング・コンソールのMIDIチャネルから**1を引いた値**をセットしてください。例えばコンソールのMIDIチャンネルが『**1**』なら、**FDS-2400** の設定は『**0**』です（下表参照）。**FDS-2400** のMIDIチャンネルを変更するときは必ず電源を切った状態でおこなってください。
- **PARALLEL** ： 拡張用パラレル・ポートです。何も接続しないでください。
- **OUTPUT CNN #1** ： コンソール・フェーダーのCh.1～18に対応しています。上下の端子が0.5秒間メイクするドライ接点です。定格以上の電流を流さないようにご注意ください。なお接続の際は勘合部分を外すと作業が楽になります。
- **OUTPUT CNN #2** ： コンソール・フェーダーのCh.19～24に対応しています。
- **ヒューズ・ホルダ／ACプラグ** ： 電源は安定したAC100vをお使いください。定格以外の電源は故障や火災の原因になりますので絶対に使用しないでください。万一ヒューズが切れた場合はその原因を確認の上、付属の予備ヒューズあるいは同じ定格のもの（1A/Slow Blow）と交換してくださ

い。ヒューズを交換する時は、感電事故防止のため必ず**FDS-2400** のACプラグをコンセントから抜いてください。

■使用方法

ミキシング・コンソールのMIDI OUTをMIDIケーブルで**FDS-2400** のMIDI INに接続します。MIDI規格ではケーブルの最大長は15mです。

ミキシング・コンソールのMIDI送信チャンネルと**FDS-2400** のMIDIチャンネルを合わせます。チャンネルの設定は下記を参考にしてください。

出力は24チャンネルあり、ミキシング・コンソールのCh.1～24のフェーダーに対応しています。

フェーダー位置が10/127の位置*（出荷時設定）を越えると対応する出力リレーが約0.5秒間メイクし、前面のインジケーターで動作を確認できます。フェーダーが同じポイントより下がるとリセットされます。

* フェーダー・ストロークを127等分したときの下から10の位置。実際のレベルはコンソールによりますが約-70dBくらいです。

■ご注意

- 短時間に電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、**FDS-2400** が誤動作をして接続されている機器が思わぬ動作をすることがあります。電源の再投入は10秒以上の間隔を開けてください。
- MIDIチャンネルを設定するときは下記の表を参考にして正しく設定してください。例えばミキシング・コンソールのMIDI送信チャンネルが『**1**』であれば、**FDS-2400** のMIDIチャンネルは『**0**』に設定します。
- **FDS-2400** のMIDIチャンネルを設定する場合は、必ず電源を切った状態でおこなってください。電源を入れたままでは設定が反映されません。
- 同時に多くのフェーダーを上げ下げした場合、ミキシング・コンソールによってはフェーダー情報に欠落が生じるため、**FDS-2400** の出力にも欠落や時間差が生じる場合があります。
- オートメーションやスナップ・ショットのリコールなどでフェーダーが自動的に上がったような場合、ミキシング・コンソールによってはフェーダー情報が出力されません。この場合は**FDS-2400** も反応しません。
- **FDS-2400** の出力はリレー接点ですので、メーク／ブレーク時にバウンス（チャタリング）が生じます(1msec以内)。相手側機器でバウンスが問題になるような場合は外部で対策をとってください。

■故障と修理について

弊社製品は、すべて厳重な出荷検査を経て出荷されています。出荷後1年以内に起こった自然故障につきましては、無償修理が保証されています。修理をご依頼の際には、製品に添付されております保証書の保証内容をご確認ください。

製品内部は感電の危険があり、お客様が交換できる部品もありません。蓋を開けて内部を覗きこむようなことはお止めください。

参考：MIDIチャンネルの設定

コンソール側	FDS-2400
1	0
2	1
3	2
4	3
5	4
6	5
7	6
8	7
9	8
10	9
11	A
12	B
13	C
14	D
15	E
16	F

*MIDIチャンネルの設定はFDS-2400の電源を切った状態で行ってください。

仕 様

MIDI部 ：MIDI 1.0規格準拠

出力部 (OUTPUT #1(Ch.1～18), #2(19～24)

出力仕様	：	リレーによるドライ接点
接点容量（抵抗負荷）	：	AC125v / 0.3A , DC30v / 1A
接点バウンス時間	：	1msec以内（動作・復帰時共）
寸　法	：	482mm(W) x 44mm(H) x 204mm(D)（突起部含まず）
重　量	：	約3kg
電　源	：	AC100v 50/60Hz
消費電力	：	約3.5VA

■仕様、外観は、改良などのため予告なく変更することがあります。

株式会社トライテック

〒142-0061 東京都品川区小山台 1-8-5
Tel. 03-3793-8411㈹ / Fax. 03-3793-8413
URL http://www.tritech.tv/
E-mail : *sales@tritech.tv*

SONY　DMX-R100をお使いのお客様へ

- DMX-R100ではMIDI チャンネルの設定以外にモードの設定も必要です。**FDS-2400** をお使いになる場合は**必ずモード1又は2**に設定してください。モード3ではフェーダー情報が出力されないため、**FDS-2400** は動作できません。

- DMX-R100は、オートメーションやスナップ・ショットのリコールなどでフェーダーが自動的に動いた場合は、フェーダー情報が出力されません。また、素手以外でフェーダー・ノブに触れるとセンサーが動作せず、この場合もフェーダー情報が出力されません。従って、これらの場合は **FDS-2400** も動作できません。

- DMX-R100では、同時に上げ下げするフェーダーの数が多いと、R100から出力されるフェーダー情報に欠落を生じます。場合によってはひとつのフェーダーがまるまる欠落することもあります。この場合、フェーダーが上がっているのにフェーダー・スタートが働かず、そのフェーダーに振れた瞬間にフェーダー・スタートが動作する可能性があります。フェーダー・スタートをかける場合は、同時に何本ものフェーダーを上げ下げしないことをお薦めします。DMX-R100ですべてのフェーダー情報が反映されるのは、最大で10本前後です。

- フェーダー・スタートがかかるポイントは、フェーダー位置にして約-70dBの位置に設定してあります。 設定を変更したい場合はお問い合わせください。

株式会社トライテック

200402R2